

ジェンダーフリーファッションの評価に関する柄の検討

A22AB127 水野紗己

1.はじめに

近年、社会における多様性が進む中、性別によるファッショングの境界を問い合わせが広がっている。特に、従来の「男性らしさ」「女性らしさ」といった固定的なイメージに縛られないジェンダーフリーファッションは、自己表現の自由を実現する手段として注目を集めている。しかし、ジェンダーフリーファッションは言葉として浸透している一方で、実際の衣服に関連した研究は少ない。先行研究において加藤ら¹⁾は、色彩やデザイン、性差がジェンダーレスファッショングの受容に及ぼす影響について報告している。そこで本研究では、ファッショングを構成する要素の中でも「柄」に着目し、柄がジェンダーフリーファッショングに及ぼす影響について検討することとした。なお、これら要因の解明は、ジェンダーフリーファッショングの製品開発や普及に寄与すると考えられる。

2.研究方法

2-1 予備調査

柄のジェンダーイメージを定量化するため、白黒画像による視覚評価実を行った。試料はIllustrated Dictionary of Fashion Design²⁾より抜粋したストライプ37点、チェック26点、その他の柄90点計153点とした。実験はアパレル分野の女子大学生11名を対象に、「男性的：5」から「女性的：1」の5段階評価とした。

2-2 実験試料の作成

アイテムは先行研究のトップスから、男性的アイテムのラガーシャツ³⁾、中性的アイテムのTシャツ⁴⁾、女性的アイテムのボウブラウス⁵⁾の3種を採用した。柄は予備調査より選定した男性的な柄「迷彩柄」、中性的な柄「マリンストライプ」、女性的な柄「フィギュアードストライプ」3種とし、柄の大きさを大中小に変換した計27種を実験試料とした(図1)。なお、試料の作成はPicart(写真・動画編集)アプリを用いた。

2-3 実験方法

評価はアパレル分野を専攻する女子大学生60名を対象に27試料を提示し「男性的-女性的」など9形容詞対について、SD法による5段階評価の官能検査を行った。実験実施時期は2025年11月であった。

得られた評価から平均官能量を算出するとともに、因子分析、数量化1類にて関与する因子について解析した。

3.結果及び考察

3-1 予備調査

予備調査の結果を表1に示した。平均値が最も高かったのは「迷彩柄」の4.3であり、次いで「ロイヤルレジメンタル」などの4.1であり、伝統的な男性服に用いられる柄は男性的印象が強いといえる。平均値3.0の「マリンストライプ」などは性別を問わない中立的なイメージの柄であるといえる。平均値が最も低かったのは「フィギュアードストライプ」の1.0であり、花柄は女性的イメージが強いといえる。以上より、本調査の試料として、各ジェンダーイメージの代表的な柄として「迷彩柄(男性的)」「マリンストライプ(中性的)」「フィギュアードストライプ(女性的)」の3種を選定した。

3-2 平均官能量

9形容詞対について平均官能量を求めた。図3には「男性的-女性的」を示した。図より、最も男性的と評価されたのは、迷彩柄(小)のラガーシャツの4.3であった。



図1 試料画像

番号	柄名	平均値
76	迷彩柄、カモフラージュプリント	4.3
37	ロイヤルレジメンタル、クロス&ストライプ	4.1
59	シャドーチェック	4.1
73	解し、ワーププリント	4.1
2	ペンシルストライプ	3
33	マリンストライプ	3
97	風車模様	3
138	ホルスタイン柄	3
148	唐草	3
100	花柄プリント	1.2
101	小花プリント	1.1
28	フィギュアードストライプ	1

表1 予備調査の結果(一部抜粋)

一方、最も女性的と評価されたのはフィギュアードストライプ（大）のボウブラウスの1.2であった。アイテム別では、最も男性的と評価されたのはラガーシャツであり、次いでTシャツ、ボウブラウスの順であった。柄別では、最も男性的と評価されたのは迷彩柄であり、次いでマリンストライプ、フィギュアードストライプの順であった。また、柄の大きさによる評価差は小さく、「男性的－女性的」は柄およびアイテムの影響が強いことが判明した。

3-3 因子分析結果

イメージに関する要因を検討するために、平均官能量を用いて因子分析を行った結果、衣服のイメージ評価は固有値1.0以上で2因子が抽出された（表2）。第1因子は「親しみやすい－親しみにくい」などの負荷量が高く、心理的受容性因子と解釈した。第2因子は「男性が着用しても良い－して欲しくない」などの負荷量が高く、男性イメージの因子と解釈した。

3-4 数量化1類による結果

アイテム、柄名、柄の大きさがイメージ評価に与える影響を検討するために数量化1類により解析した結果を表3に示した。偏相関係数より、「重い－軽い」「男性的－女性的」「男性が着用しても良い－着用して欲しくない」では柄名とアイテムの偏相関係数が0.85以上と高く、相互に評価に影響することがわかった。また、「はっきり－ぼんやり」では、柄名の影響が強いものの、柄の大きさも一定の影響を及ぼしていることが明らかになった。その他の形容詞対については、主として柄名が評価に大きく影響することがわかった。

4. おわりに

本研究では、柄がジェンダーフリーファッションに及ぼす影響について検討した結果、柄の影響が大きいことが明らかになった。一方で、男性の着用にはアイテムや柄による制約など、社会的規範が依然として残っていることも示された。

5. 参考文献

- 1) 加藤他; ジェンダーレスファッショングの評価に関する色彩・アイテム・性差因子の検討, 日本纖維製品消費科学会, vol.65 No.3:191-199(2024)
- 2) 若月他; "Illustrated Dictionary of Fashion Design" (第1版), 繊研新聞社, 東京, 48-173 (2007)
- 3) ラガーシャツ: <https://outlet.newbalance.jp/> (2025)
- 4) Tシャツ: <https://www.gu-global.com/> (2025)
- 5) ボウブラウス: <https://voi.0101.co.jp/> (2025)

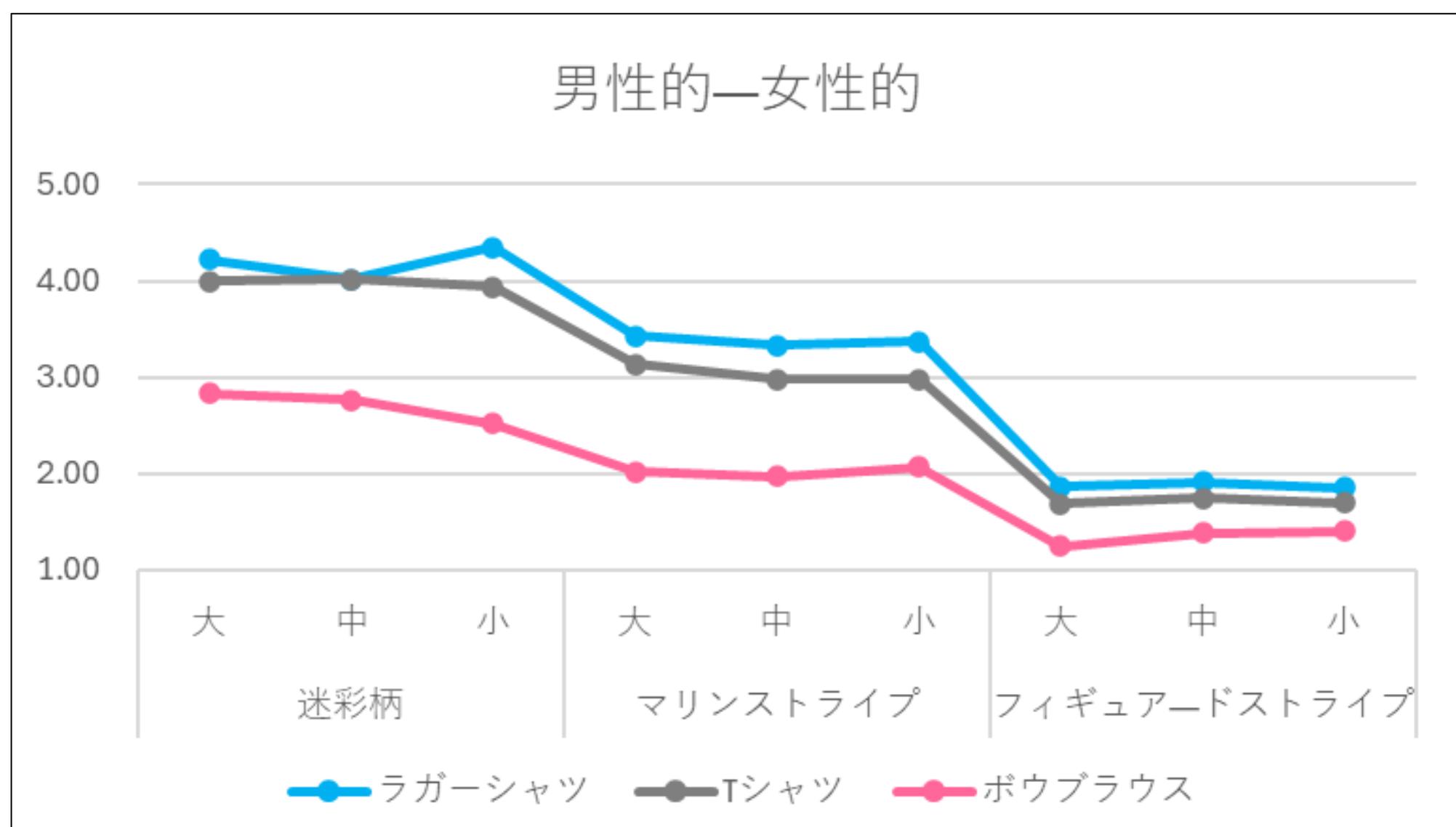


図2 平均官能量「男性的－女性的」

形容詞対	因子1	因子2	共通性
親しみやすい－親しみにくい	0.990	0.017	0.914
安定した－不安定な	0.983	0.100	0.983
好き－嫌い	0.955	0.025	0.783
女性が着用しても良い－女性に着用して欲しくない	0.903	-0.004	0.625
重い－軽い	-0.858	0.240	0.983
派手な－地味な	-0.924	0.111	0.861
男性が着用しても良い－男性に着用して欲しくない	0.224	0.968	0.95
男性的－女性的	-0.282	0.941	1
はっきり－ぼんやり	-0.049	0.790	0.815
累積率(%)	0.291	0.589	
累積寄与率(%)	0.291	0.879	

表2 因子分析結果

表3 数量化1類の分析結果

カテゴリ	好き－嫌い		親しみやすい－親しみにくい		重い－軽い		はっきり－ぼんやり		安定した－不安定な		派手な－地味な		男性的－女性的		男性が着用しても良い－着用して欲しくない		女性が着用しても良い－着用して欲しくない		
	カテゴリ	偏相関 係数	カテゴリ	偏相関 係数	カテゴリ	偏相関 係数	カテゴリ	偏相関 係数	カテゴリ	偏相関 係数	カテゴリ	偏相関 係数	カテゴリ	偏相関 係数	カテゴリ	偏相関 係数	カテゴリ	偏相関 係数	
アイテム	ラガーシャツ	0.151		0.119		0.041		0.145		0.194		-0.023		0.456		0.693		0.188	
	Tシャツ	-0.018	0.379	0.074	0.379	-0.264	0.814	0.051	0.585	0.093	0.586	-0.099	0.486	0.215	0.920	0.461	0.909	0.067	0.514
	ボウブラウス	-0.133		-0.193		0.223		-0.196		-0.287		0.122		-0.672		-1.154		-0.255	
柄名	迷彩柄	-0.614		-0.961		0.802		0.319		-0.813		0.888		0.934		0.343		-0.723	
	マリンストライプ	0.493	0.851	0.857	0.912	-0.353	0.970	0.221	0.888	0.733	0.911	-0.812	0.973	0.115	0.969	0.535	0.856	0.410	0.854
	フィギュアードストライプ	0.121		0.104		-0.449		-0.540		0.080		-0.077		-1.049		-0.878		0.314	
柄の大きさ	大	-0.066		-0.039		0.088		0.217		0.031		0.060		0.021		0.009		-0.012	
	中	0.019	0.167	0.044	0.102	-0.070	0.416	-0.016	0.652	0.009	0.105	0.007	0.304	-0.012	0.072	-0.006	0.017	0.006	0.028
	小	0.047		-0.006		-0.018		-0.201		-0.041		-0.067		-0.009		-0.004		0.006	
定数項		2.790		3.009		2.992		3.314		3.148		3.464		2.694		3.261		3.912	
重相関係数		0.859		0.915		0.973		0.912		0.919		0.974		0.977		0.939		0.868	
重相関係数の2乗		0.738		0.837		0.947		0.832		0.845		0.948		0.955		0.882		0.754	